

大田原市の全般的な施策や事業等について

■加重平均値の算出

重要度及び満足度については、基本政策 1～基本政策 6 の 39 項目に対する「満足度」及び「重要度」の加重平均値を算出しています。

「無回答」を除く「重要」・「満足」、「やや重要」・「まあ満足している」、「あまり重要でない」「やや不満である」及び「重要でない」・「不満である」の複数の回答を単純に平均するのではなく、それぞれの回答の重みを加味して平均した「加重平均値」によって、満足度・重要度を示しています。

※ここでは「満足」・「重要」に 2 ポイント、「やや重要」・「まあ満足している」に 1 ポイント、「あまり重要でない」・「やや不満である」に -1 ポイント、「重要でない」・「不満である」に -2 ポイントを与え、無回答を除く合計回答数で割った結果としていますが、仮に全員が「満足」・「重要」の場合は 2 ポイントとなり、「重要」・「満足」と「重要でない」・「不満である」がそれぞれ 50%の場合は 0 ポイントとなります。

《評価基準ごとの加重点数》

「重要度」の評価基準 (選択肢)	加重点数	「満足度」の評価基準 (選択肢)	加重点数
重要	2 ポイント	満足	2 ポイント
やや重要	1 ポイント	まあ満足している	1 ポイント
どちらともいえない	0 ポイント	どちらともいえない	0 ポイント
あまり重要でない	-1 ポイント	やや不満である	-1 ポイント
重要でない	-2 ポイント	不満である	-2 ポイント
無回答	除外	無回答	除外

《加重平均の算式》

重要度	$\frac{[\text{「重要」} \times (2 \text{ ポイント})] + [\text{「やや重要」} \times (1 \text{ ポイント})] + [\text{「どちらともいえない」} \times (0 \text{ ポイント})] + [\text{「あまり重要でない」} \times (-1 \text{ ポイント})] + [\text{「重要でない」} \times (-2 \text{ ポイント})]}{\text{各項目回答者数 (無回答は含まない、加点した選択肢の回答者数)}}$
満足度	$\frac{[\text{「満足」} \times (2 \text{ ポイント})] + [\text{「まあ満足している」} \times (1 \text{ ポイント})] + [\text{「どちらともいえない」} \times (0 \text{ ポイント})] + [\text{「やや不満である」} \times (-1 \text{ ポイント})] + [\text{「不満である」} \times (-2 \text{ ポイント})]}{\text{各項目回答者数 (無回答は含まない、加点した選択肢の回答者数)}}$

注) それぞれの評価の回答者数に、2 ポイントから -2 ポイントの点数をかけた合計点数を、回答者数 (無回答は含まない) で割った数値を加重平均値としています。

加重平均値による評価について

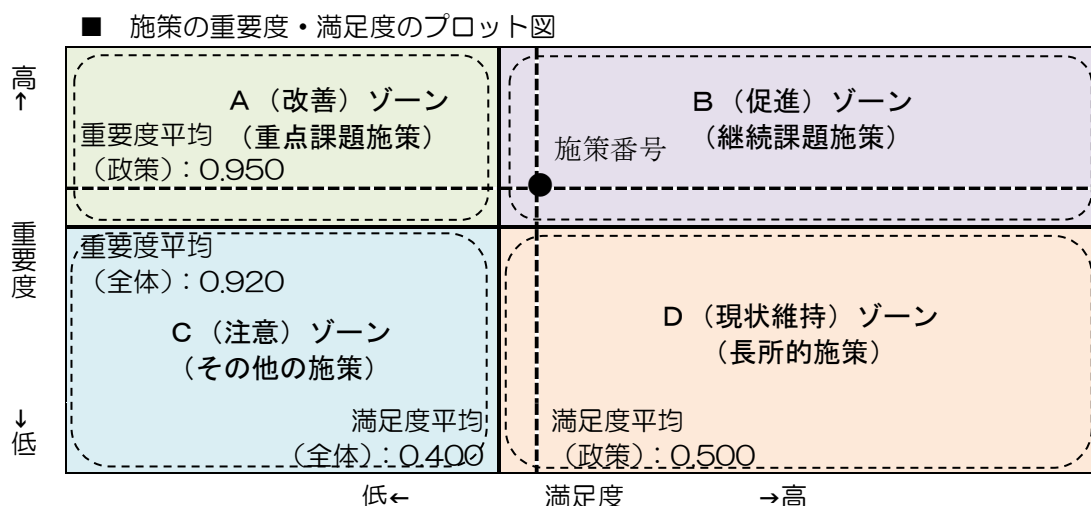
施策に対する重要度・満足度の回答で、「どちらともいえない」が多いのは、施策そのものに関心や理解がない、知らないなどに起因すると考えられます。

個別施策に関する意向調査であれば、施策の内容を丁寧に紹介・解説し、理解を得てから重要度・満足度を問えますが、総合計画の意向調査では、調査票の紙面の制約（長文になると回答率が下がる）などから、施策の紹介・解説などは省略しています。

「重要である・ない」「満足である・ない」は、施策に関心や理解のある方の評価と考え、加重平均値は、関心のある方の支持には「2or1ポイント」を、不支持には「-2or-1ポイント」を与えて、傾向を示すものです。

施策の重要度・満足度のプロット図について

プロット図には、施策全体の平均値と、基本政策ごとの平均値を示し、図上に施策の「重要度」と「満足度」の位置を●印でプロットしてあります。



プロット図の平均値で区切られた各ゾーンは、施策全体を相対的に見た場合、

- ・ A (改善) ゾーン (重点課題施策)：重要度は平均以上であるが、満足度は平均以下であることから、市民は重要施策であると認識しているが、現状では満足していない。
→市民が重要施策であると認識している施策であり、満足度を高めていく必要があることから、今後は、取り組みの改善を検討し、強化していく必要があります。
- ・ B (促進) ゾーン (継続課題施策)：重要度・満足度共に平均以上で、市民は現状である程度満足しており、今後とも引き続き重要な施策である。
→現在の水準を維持できるように、今後も、取り組みを継続していく必要があります。
- ・ C (注意) ゾーン (その他の施策)：重要度・満足度共に平均以下で、市民は重要性を認知しておらず、現状では満足もしていない。
→施策の実施・継続の必要性について検証し、必要に応じ、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいく必要があります。
- ・ D (現状維持) ゾーン (長所的施策)：重要度は平均以下であるが、満足度は平均以上であることから、市民は重要性の認識は低いが、現状には満足している。
→現在の水準の維持が求められますが、市民からみた優先度は高く無い分野といえます。

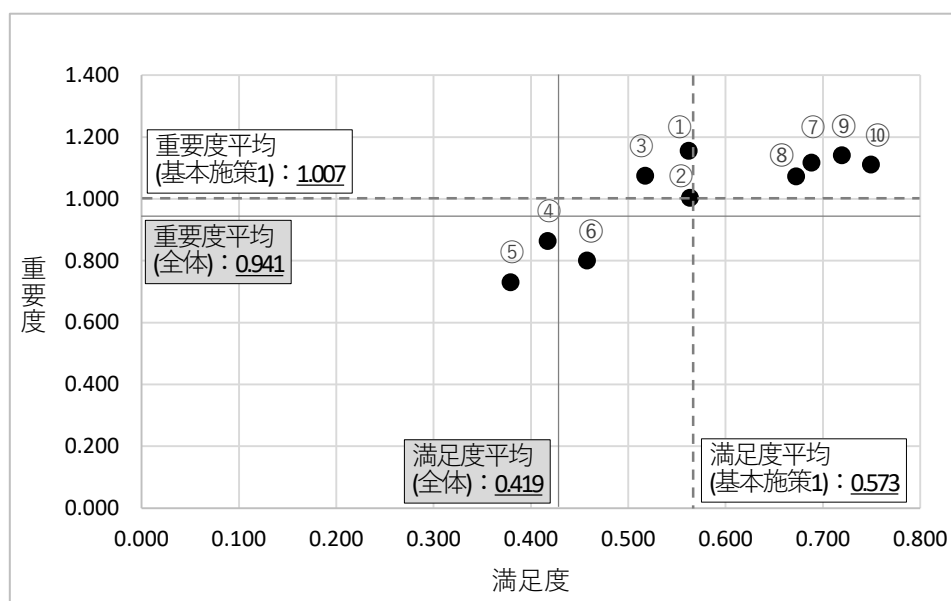
※政策の平均値：図上の「施策番号」は政策分野の平均値の交点でBゾーンにあり、この政策分野は、「現在の水準を維持できるように、今後も、取り組みを継続していく必要がある。」と言えます。

基本政策 1 豊かな自然と調和する、安らぎある快適な環境のまちづくり (SA)

■ 基本施策 1 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 1 を比較すると、重要度が平均以上となっており、満足度が特に高くなっている。

基本政策 1 における「満足度」と「重要度」の関係をみると、「①生活環境の向上」と「③廃棄物対策の推進」は重要と感じている比率が多くなっているが、満足度が平均以下となっている。「④住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進」、「⑤土地利用対策の推進」、「⑥都市基盤の整備」は、重要度と満足度がともに低くなっている。「⑦道路・河川の整備」、「⑧公共交通の整備」、「⑨上水道の健全な運営」、「⑩下水道の整備」は重要度と満足度がともに高くなっている。



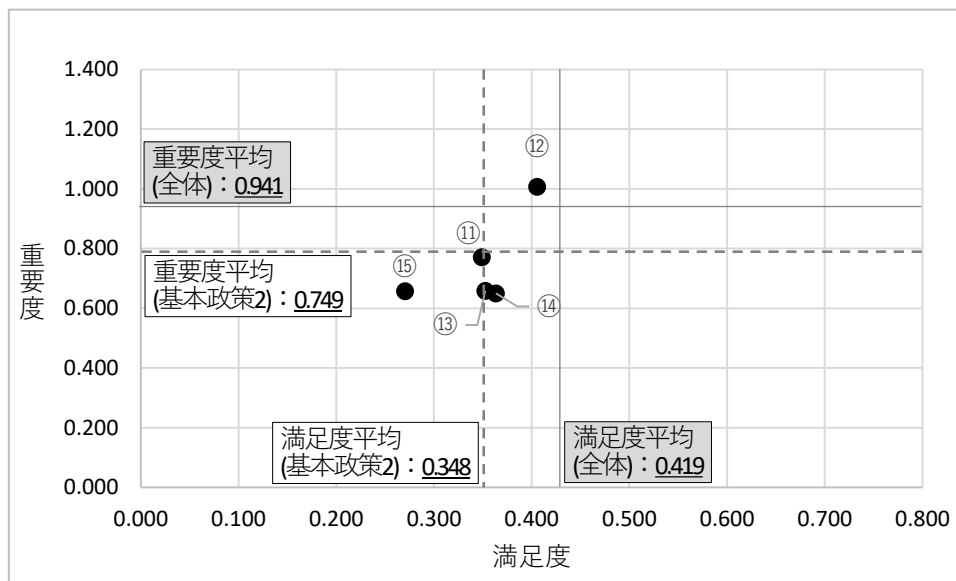
基本政策1	
①	生活環境の向上
②	自然環境の保全
③	廃棄物対策の推進
④	住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進
⑤	土地利用対策の推進
⑥	都市基盤の整備
⑦	道路・河川の整備
⑧	公共交通の整備
⑨	上水道の健全な運営
⑩	下水道の整備

基本政策 2 歴史や伝統文化を継承し、豊かな心を育むまちづくり (SA)

■ 基本施策 2 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 2 を比較すると、重要度と満足度はともに低くなっている。

基本政策 2 における「満足度」と「重要度」の関係をみると、「⑫生きる力を育む学校教育の推進」は重要度と満足度ともに平均以上となっている。「⑮国際化への対応と国内交流の推進」は重要度と満足度ともに平均よりも低くなっている。「⑪生涯学習社会づくりの推進」、「⑬文化・芸術の振興」、「⑭スポーツ・レクリエーションの振興」は重要度と満足度は平均となっている。



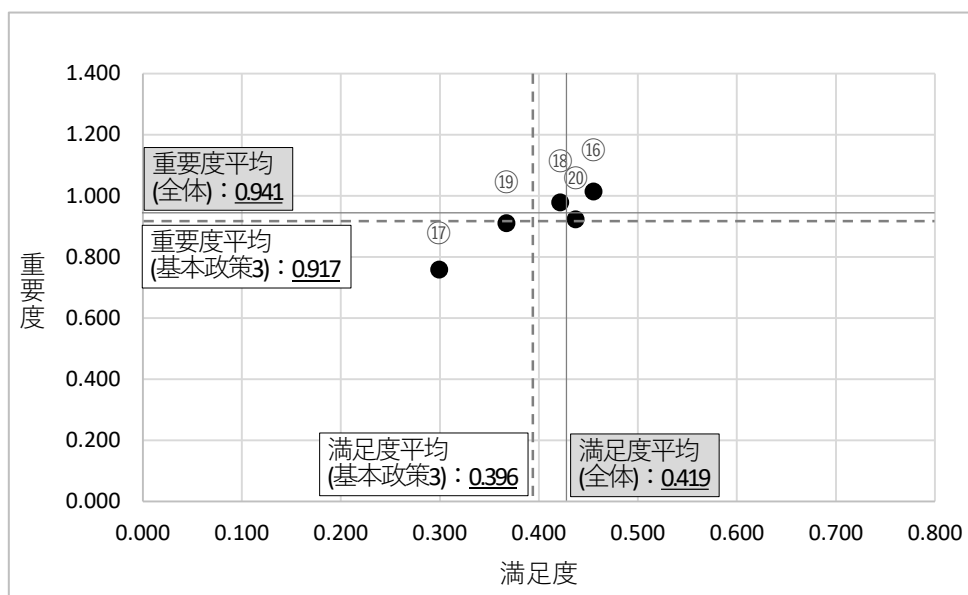
基本政策2	
⑪	生涯学習社会づくりの推進
⑫	生きる力を育む学校教育の推進
⑬	文化・芸術の振興
⑭	スポーツ・レクリエーションの振興
⑮	国際化への対応と国内交流の推進

基本政策 3 次代につなぐ賑わいを創生する、魅力と活力あふれる産業のまちづくり (SA)

■ 基本施策 3 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 3 を比較すると、重要度と満足度がやや低い傾向にある。

基本政策 3 における「満足度」と「重要度」の関係をみると、「⑩農業の振興」が重要度と満足度がともに高くなっている。「⑪林業の振興」は重要度と満足度がともに低くなっており、「⑫商業の振興」、「⑬工業の振興」、「⑭観光の振興」が重要度と満足度ともに平均に近い値になっている。



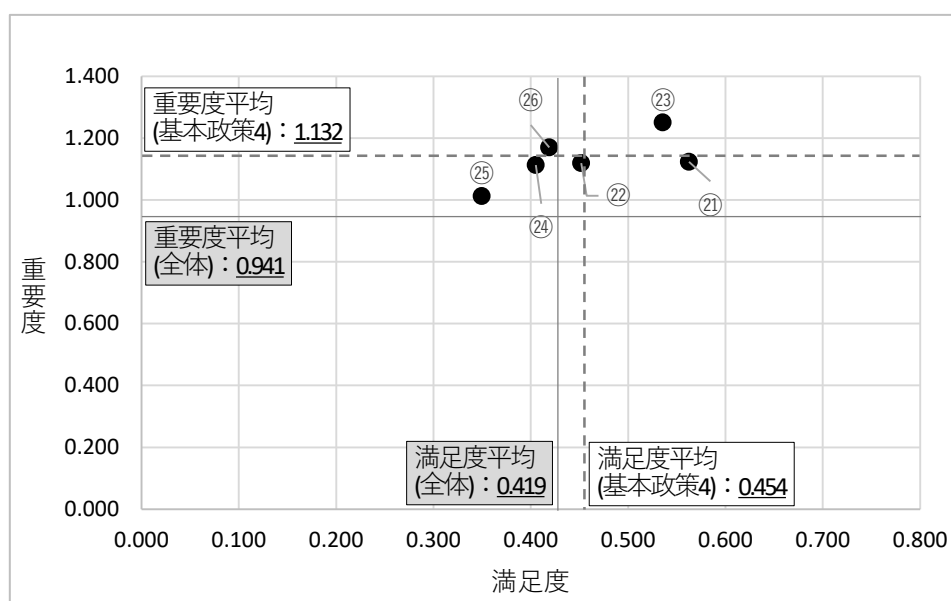
基本政策 3	
⑩	農業の振興
⑪	林業の振興
⑫	商業の振興
⑬	工業の振興
⑭	観光の振興

基本政策 4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり (SA)

■ 基本施策 4 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 4 を比較すると、重要度と満足度が平均以上となっている。重要度についてはすべての項目で全体平均よりも上回っている

基本政策 4 における「重要度」と「満足度」の関係をみると、「②結婚支援と子育て支援の充実」、「④障がい者にやさしいまちづくりの推進」、「⑥社会保障の充実」は重要度が高くなっているが、満足度は平均よりも下回っている。「①健康づくりの推進」、「③高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実」は重要度と満足度がともに高くなっている。「⑤地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実」は重要度と満足度がともに低くなっている。



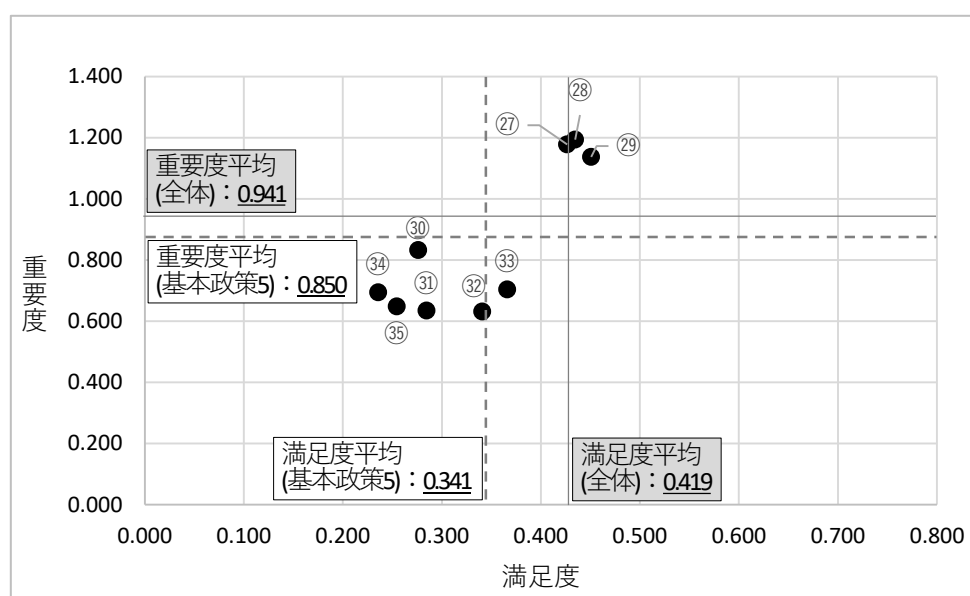
基本政策4	
①	健康づくりの推進
②	結婚支援と子育て支援の充実
③	高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進
④	障がい者にやさしいまちづくりの推進
⑤	地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実
⑥	社会保障の充実

基本政策 5 市民にひらかれた安全で安心な明るい地域をともにつくるまちづくり (SA)

■ 基本施策 5 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 5 を比較すると、重要度と満足度がともに平均よりも下回っている。

基本政策 5 における「重要度」と「満足度」の関係を見ると、「⑲防犯体制と対策の充実」と「⑳防災体制の充実」と「㉑交通安全対策の推進」は重要度と満足度がともに平均よりも大きく上回っている。「㉒消費者保護対策の充実」、「㉓市民参加行政の充実」、「㉔人権尊重意識の普及と高揚」、「㉕男女共同参画の推進」は重要度と満足度がともに平均よりも下回っている。「㉖広報広聴活動の充実」、「㉗自治会・コミュニティの活性化」は重要度が平均以下となっているが、満足度は平均となっている。



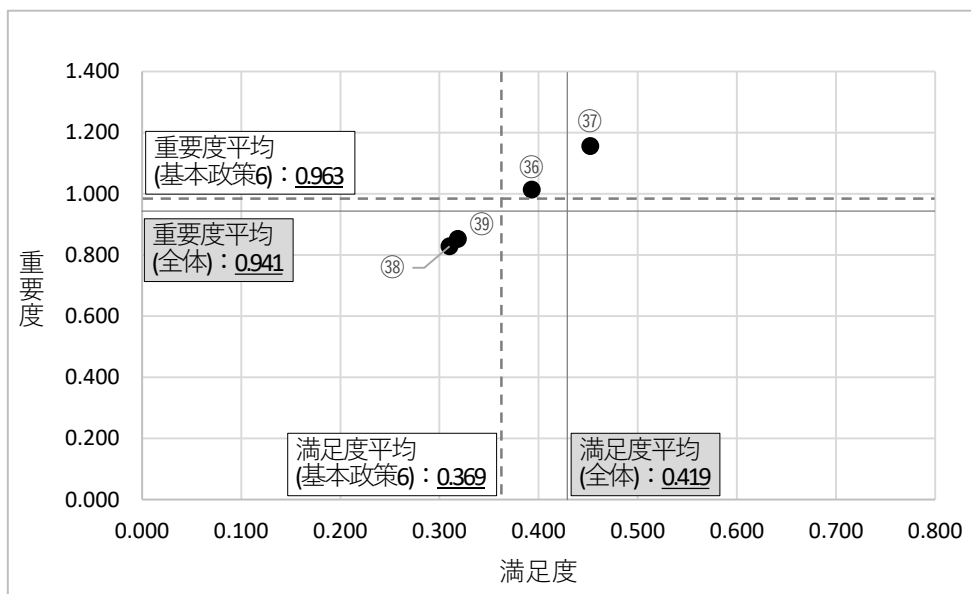
基本政策5	
⑲	防犯体制と対策の充実
⑳	防災体制の充実
㉑	交通安全対策の推進
㉒	消費者保護対策の充実
㉓	市民参加行政の充実
㉔	広報広聴活動の充実の充実
㉕	自治会・コミュニティの活性化
㉖	人権尊重意識の普及と高揚
㉗	男女共同参画の推進

基本政策 6 情報化と広域連携を進め、効率的・効果的な行財政運営のまちづくり (SA)

■ 基本施策 6 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 6 を比較すると、満足度が低い水準となっており、重要度については平均以上となっている。

基本政策 6 における「重要度」と「満足度」の関係をみると、「③⑦行財政の健全運営」は重要と感じている比率が高く、満足度も高くなっている。「③⑧広域連携の推進」と「③⑨地域情報化の推進」は重要度と満足度がともに平均を下回っている。「③⑥行政の効率的・効果的運営」は重要度と満足度がともに平均値となっている。



基本政策6	
③⑥	行政の効率的・効果的運営
③⑦	財政の健全運営
③⑧	広域連携の推進
③⑨	地域情報化の推進